

平成 29 年度
学生調査報告

山口県立大学

調査概要

1 目的

本調査は、修学支援、学生生活支援、キャリア形成支援の3点について調査し、総合的な学生支援の基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査項目の見直し

これまで、「学生生活満足度調査」、「学生生活実態調査」として、それぞれ別の時期に実施していた2つの調査を統合し、教育改善に活用可能な調査項目を加え、「学生調査」として一本化した。

3 調査方法

- ・質問紙調査

4 調査対象及び回収状況

- ・対象 : 学部学生（休学、留学中の者を除く）1,292名
- ・回答数 : 1,169
- ・回収率 : 90.5%

5 実施時期

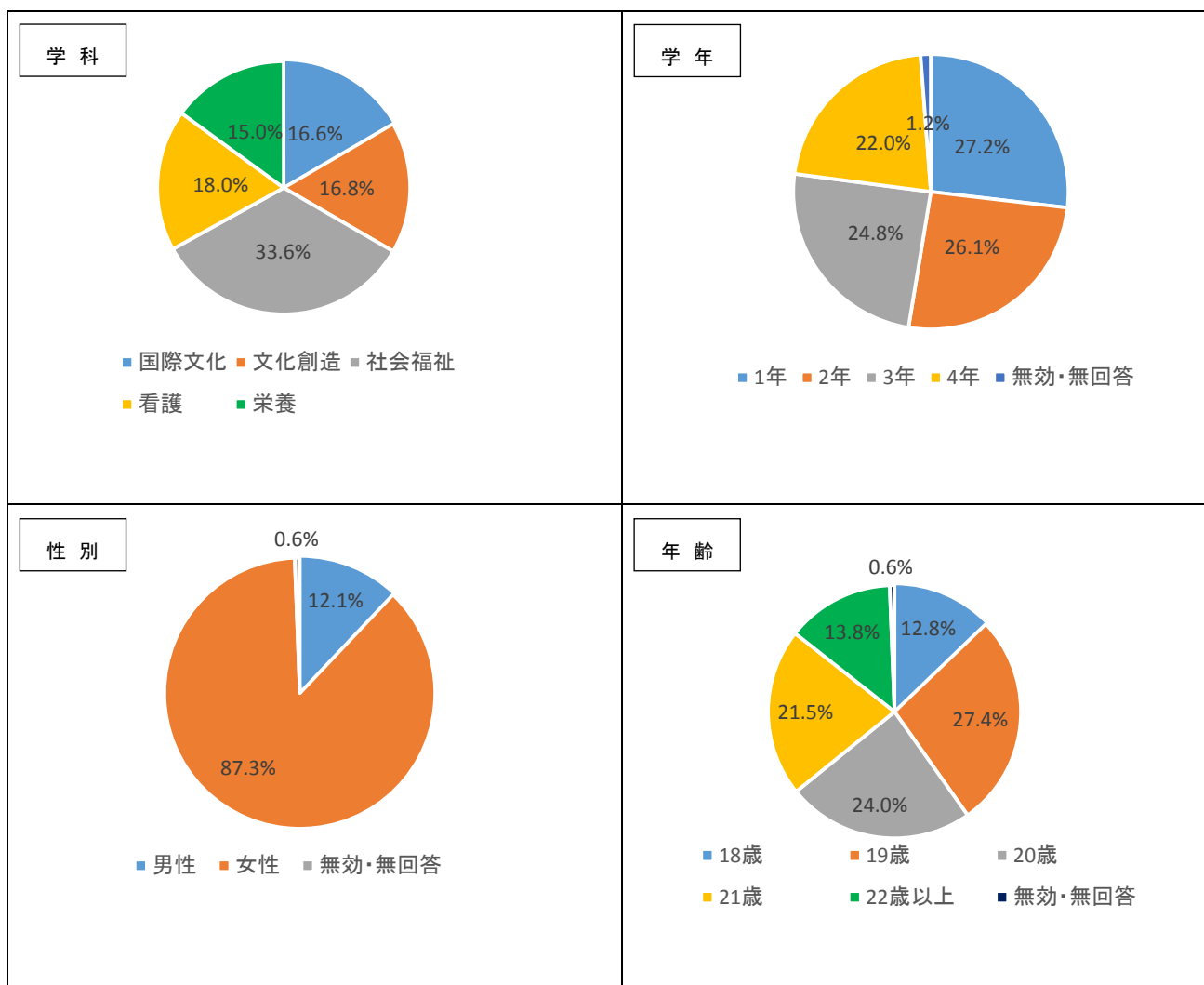
- ・平成29年9月29日～10月6日

目次

I 基本属性.....	3
II 住居・通学について.....	3
III 学生生活全般の満足度.....	4
IV 本学で学ぶ目的について.....	4
V 本学で開講している授業について.....	5
VI 授業外学習時間について.....	6
VII 本学の教員について	7
VIII 本学での学修成果について.....	8
IX 本学のキャリア教育について.....	10
X 施設・設備の満足度.....	11
XI 各種相談窓口に対する満足度.....	12
XII 課外活動・サークル活動について.....	13
XIII 交友・交流関係に対する満足度.....	14
XIV アルバイト・生活習慣・その他生活実態について.....	15
XV 新キャンパスに対する満足度.....	18

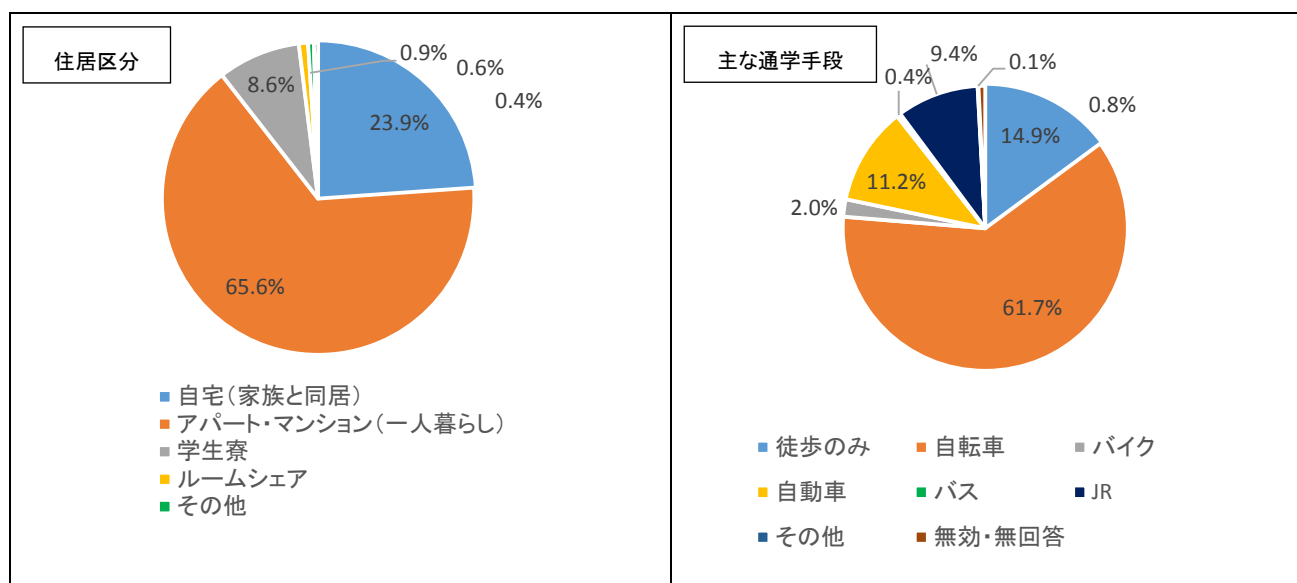
I 基本属性

n=1169

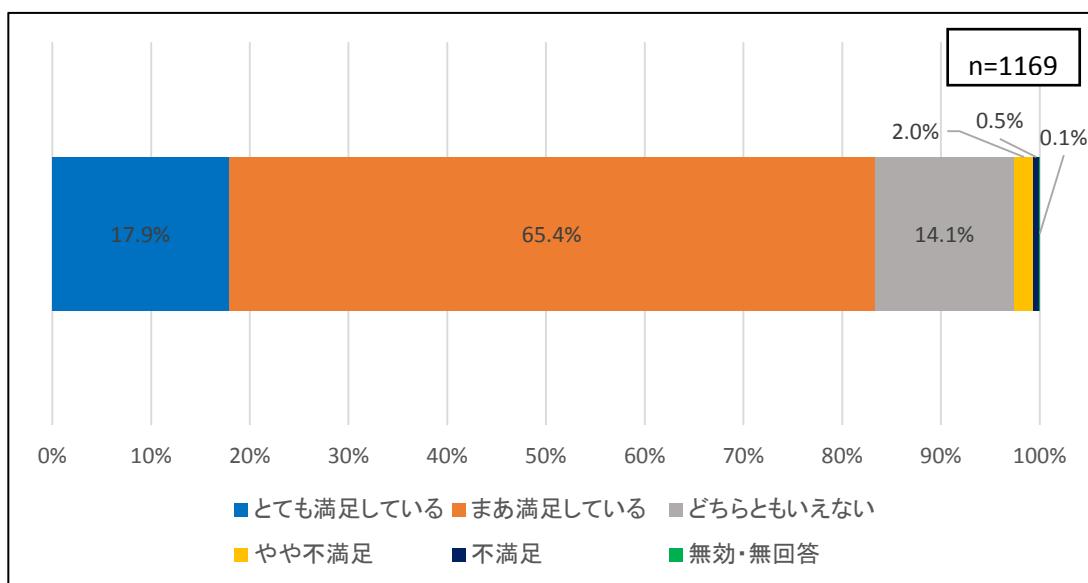


II 住居・通学について

n=1169

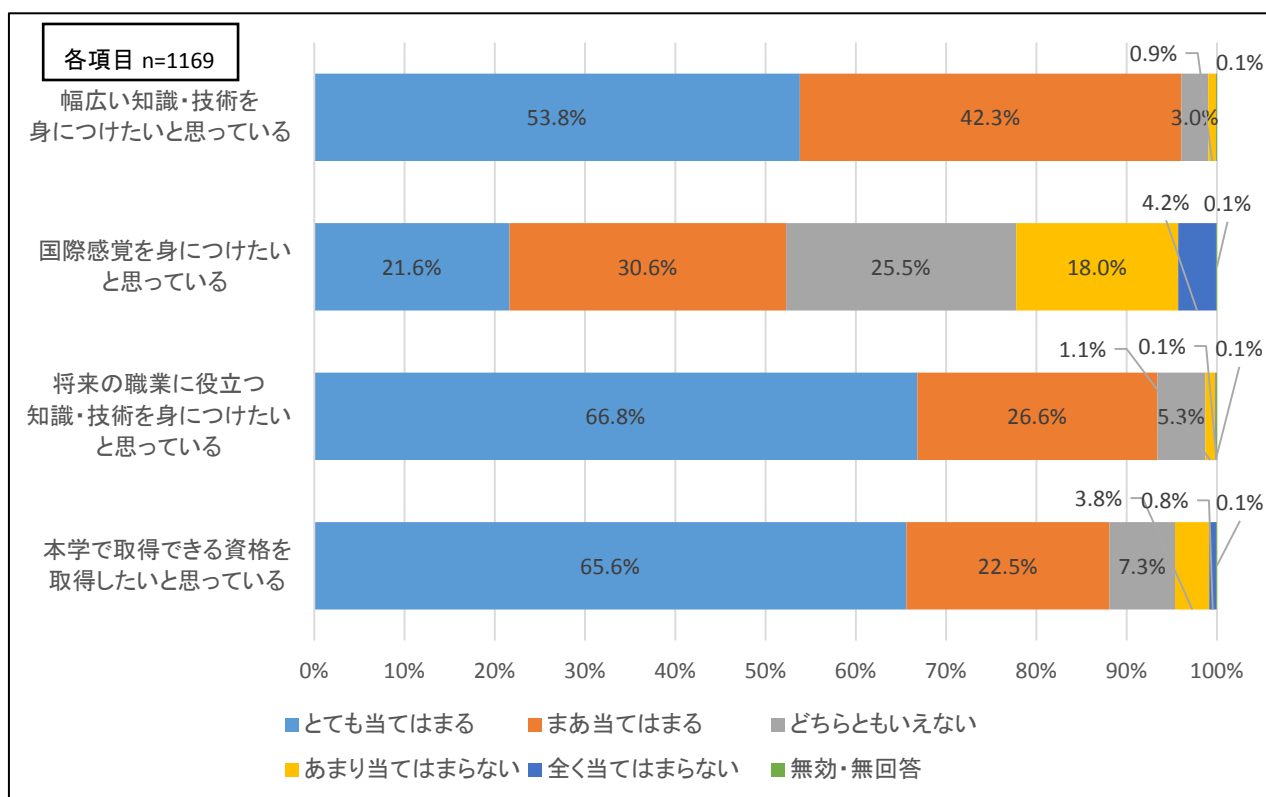


Ⅲ 学生生活全般の満足度



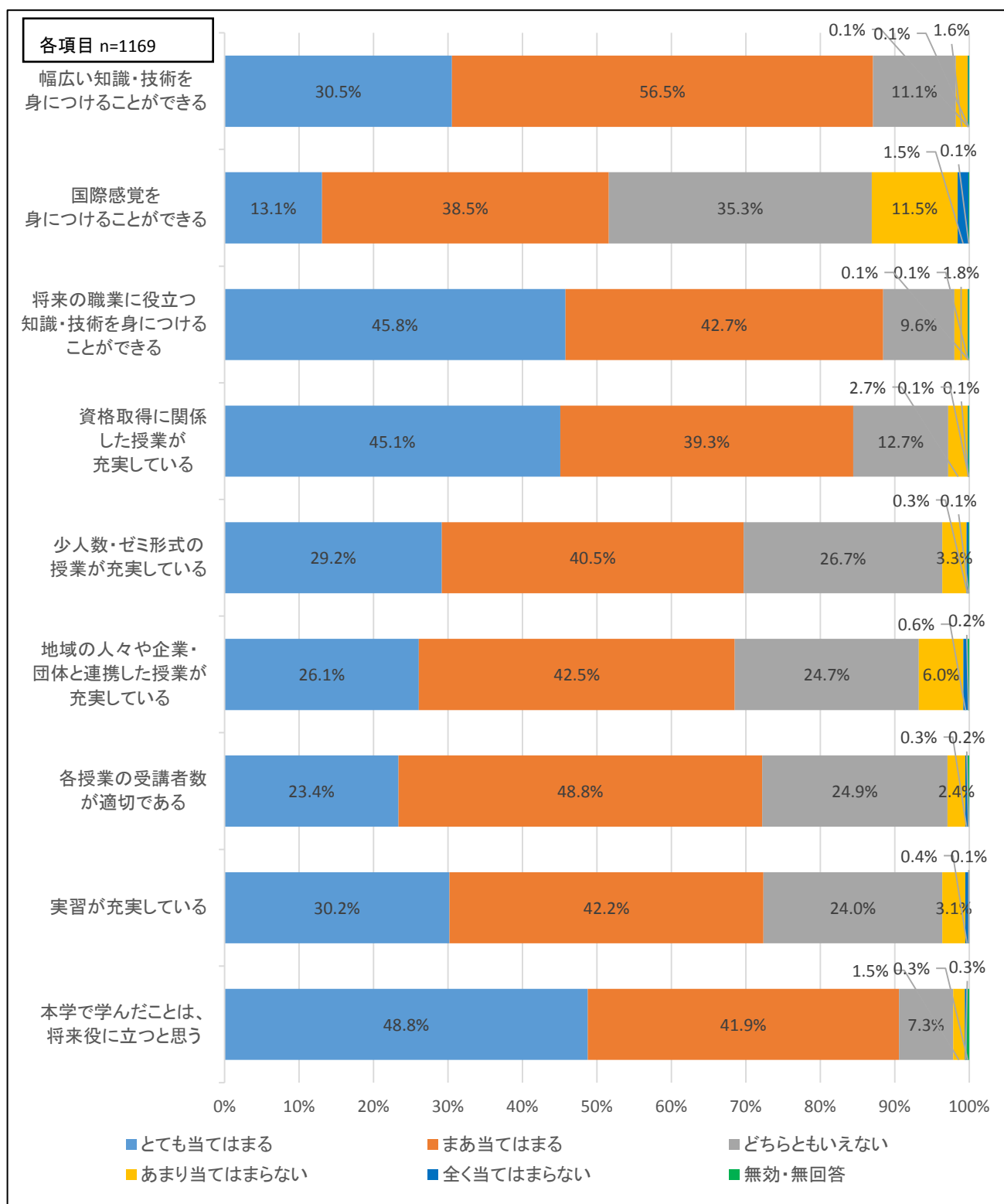
78%が学生生活に満足と回答。

Ⅳ 本学で学ぶ目的について



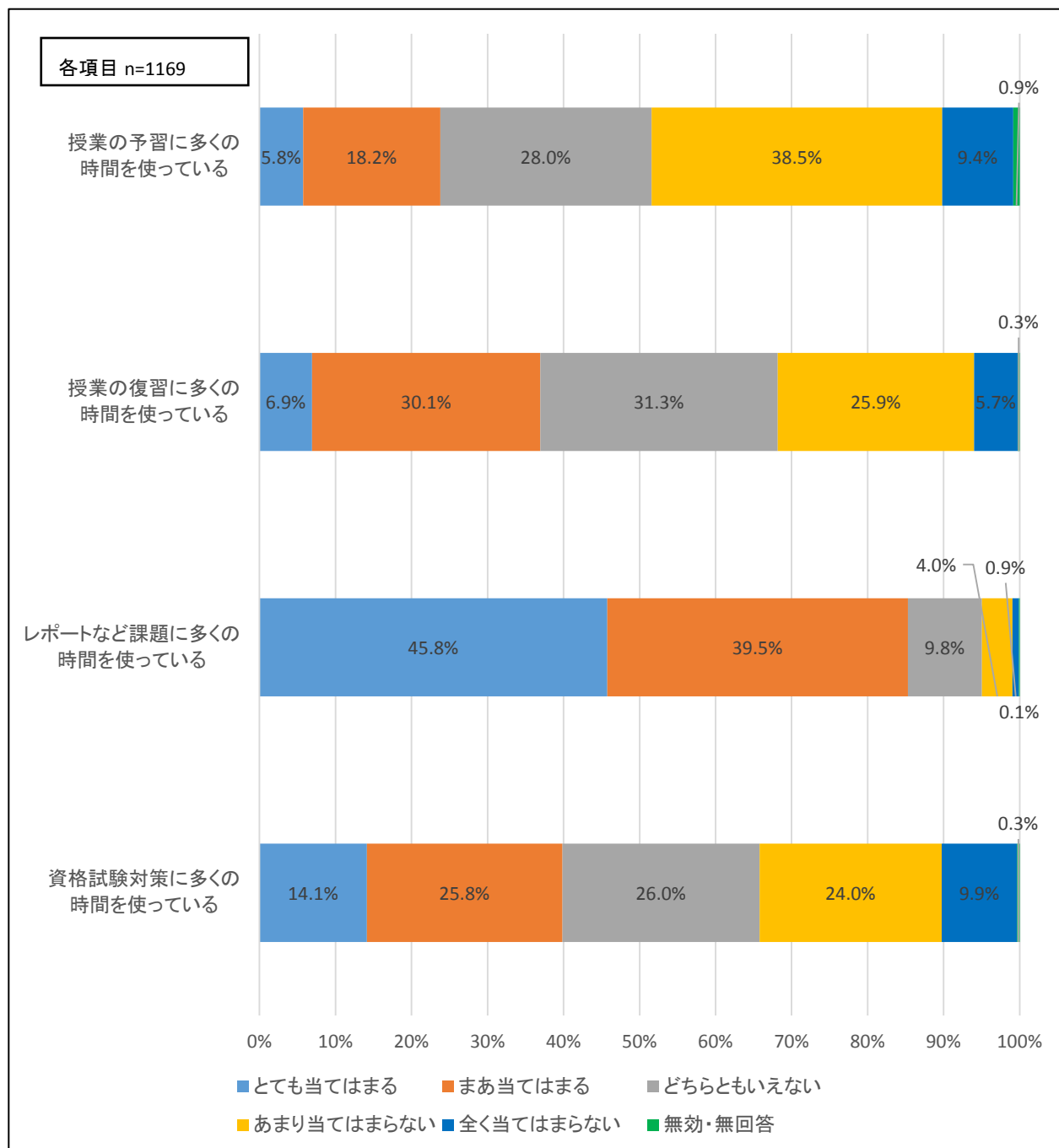
本学学生は、幅広い知識・技術の修得（96.1%）と将来の職業に役に立つ知識・技術の修得（93.4%）、すなわち、教養教育と職業教育の双方に期待して入学しているといえる。

V 本学で開講している授業について



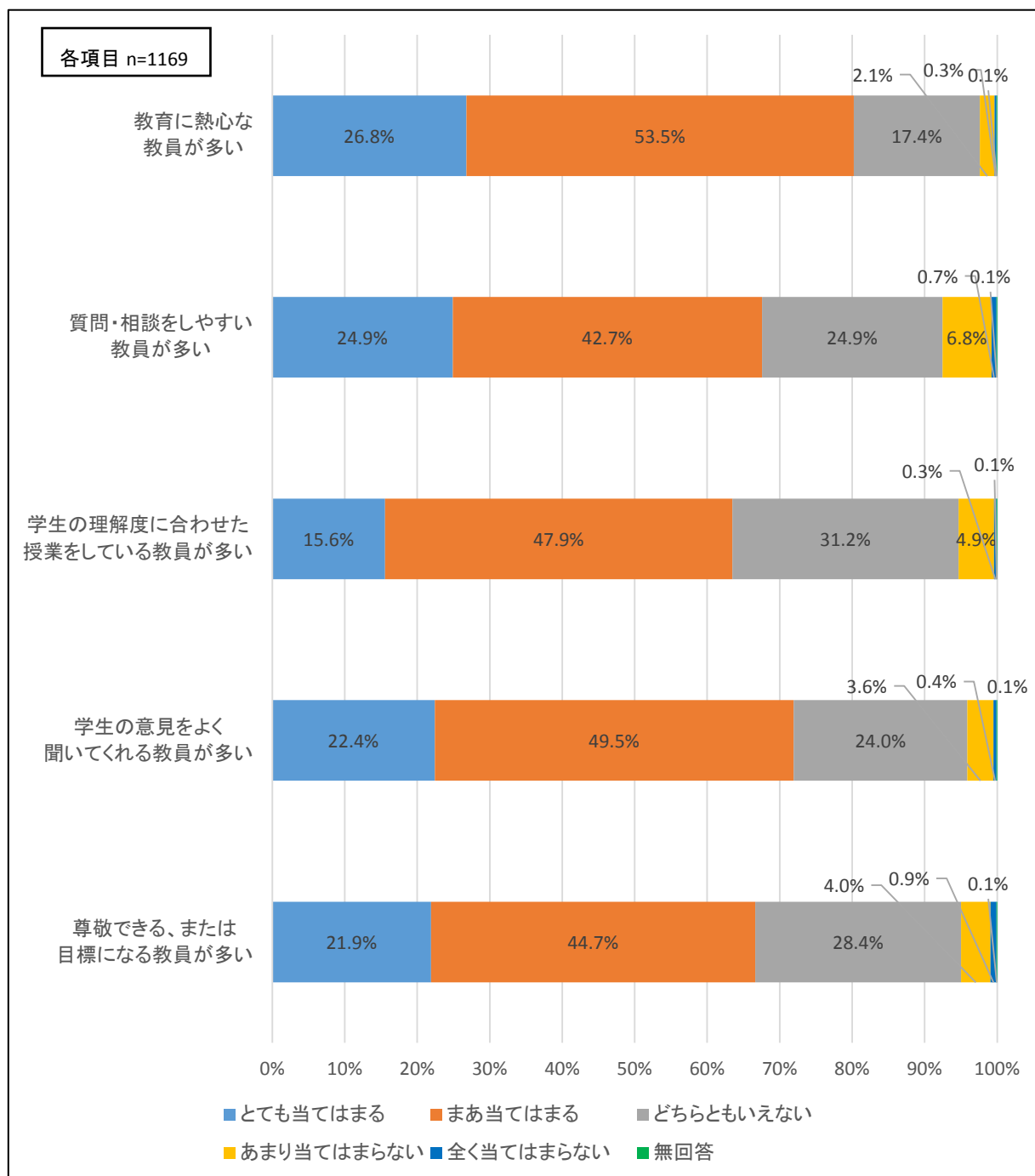
「幅広い知識・技術を身につけることができると思う」(87.0%)、「将来の職業に役に立つ知識・技術を身につけることができると思う」(88.5%)、「本学で学んだことは将来役に立つと思う」(90.7%)という感想が高く、「国際感覚を身につけることができる」(51.6%)がやや低くなっている。

VI 授業外学習時間について



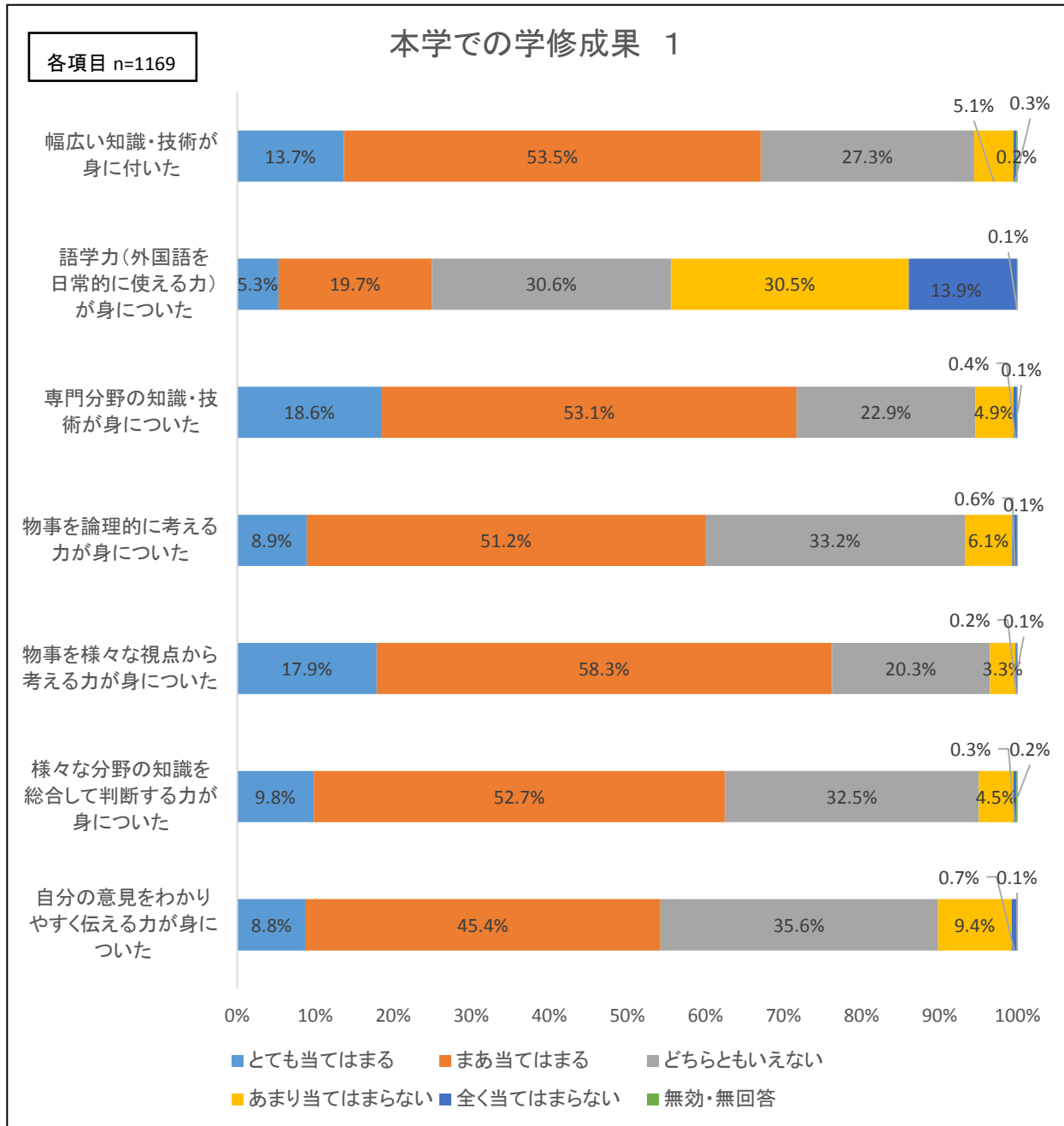
レポートなど課題に多くの時間を使っていると回答した学生が最も多く（85.3%）、予習、復習に多くの時間を使っていると回答した学生はそれぞれ40%未満である。

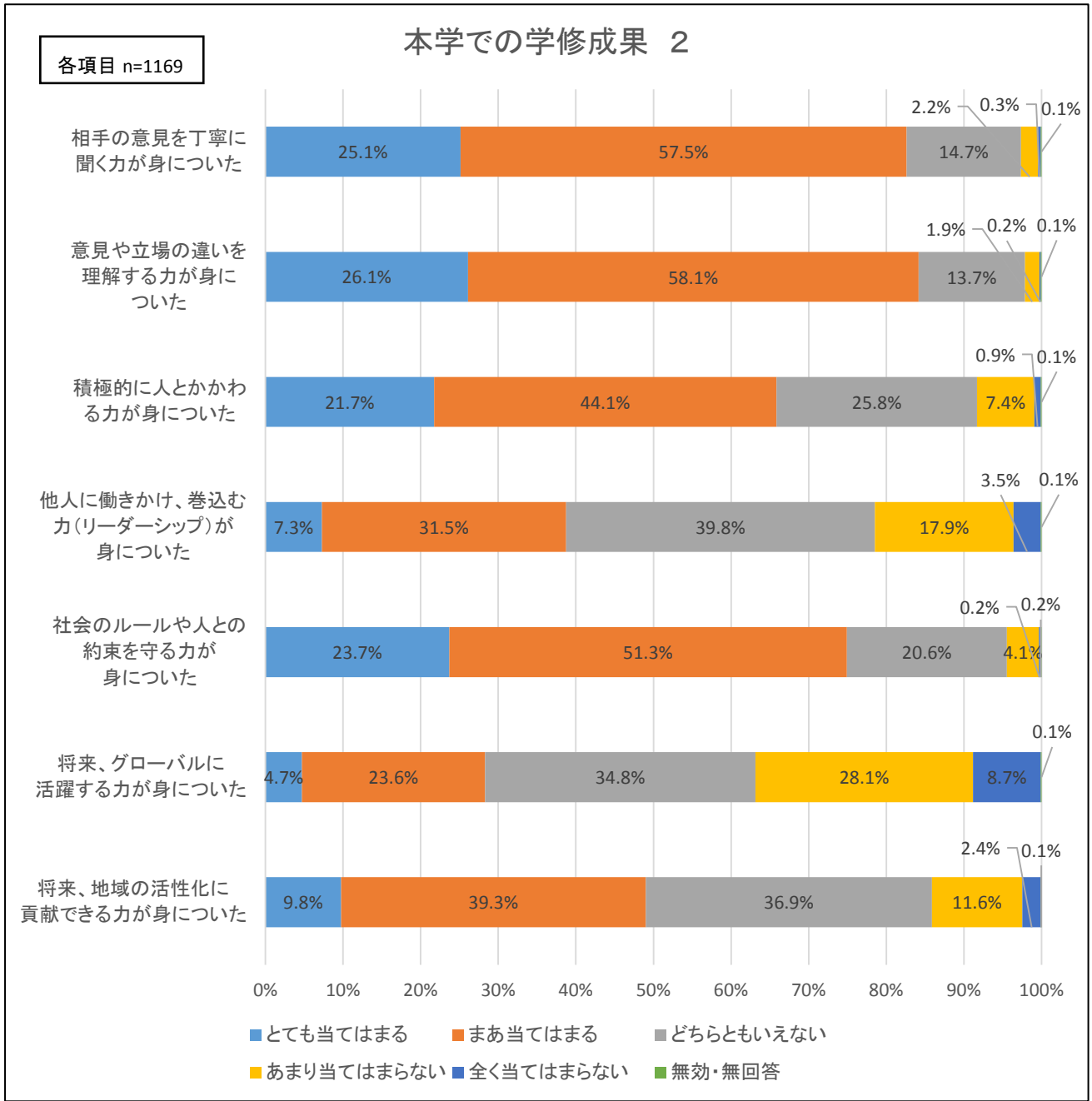
VII 本学の教員について



70%以上の学生が、「教育に熱心な教員が多い」(80.3%)、「学生の意見をよく聞いてくれる教員が多い」(71.9%)と回答しているが、他の項目も60%を超えている。

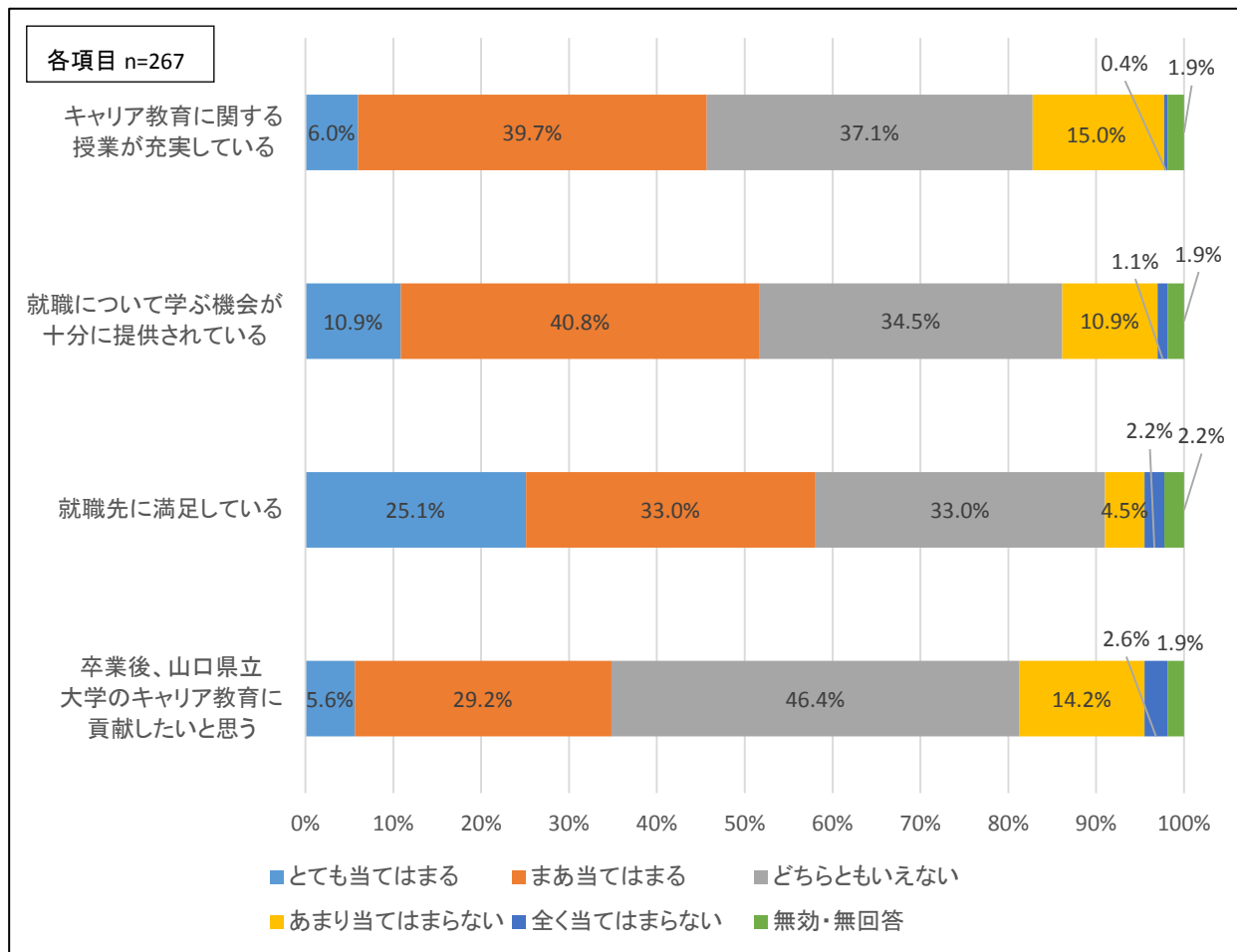
VIII 本学での学修成果について





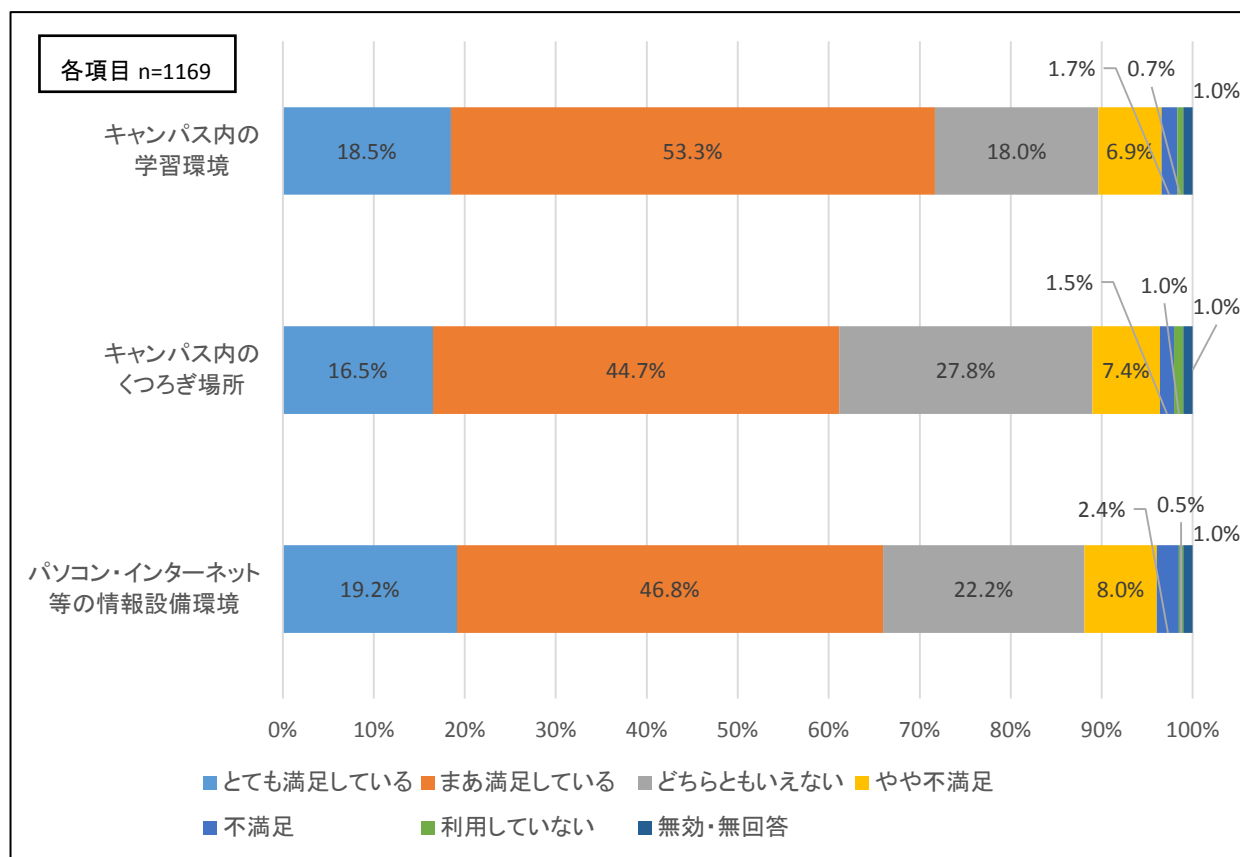
「相手の意見を丁寧に聞く力」(82.6%)、「意見の立場の違いを理解する力」(84.2%) について、それぞれ 80%以上の学生が身についたと回答している。一方、「他人に働きかけ巻き込む力」、「語学力(外国語を日常的に使える力)」が身についたとする学生は 40%未満である。また、5割の学生が「将来地域の活性化に貢献できる力が身についた」(49.1%) と回答しているのに対し、「将来グローバルに活躍する力が身についた」との回答は 28.3%である。

Ⅸ 本学のキャリア教育について（４年生のみ対象）



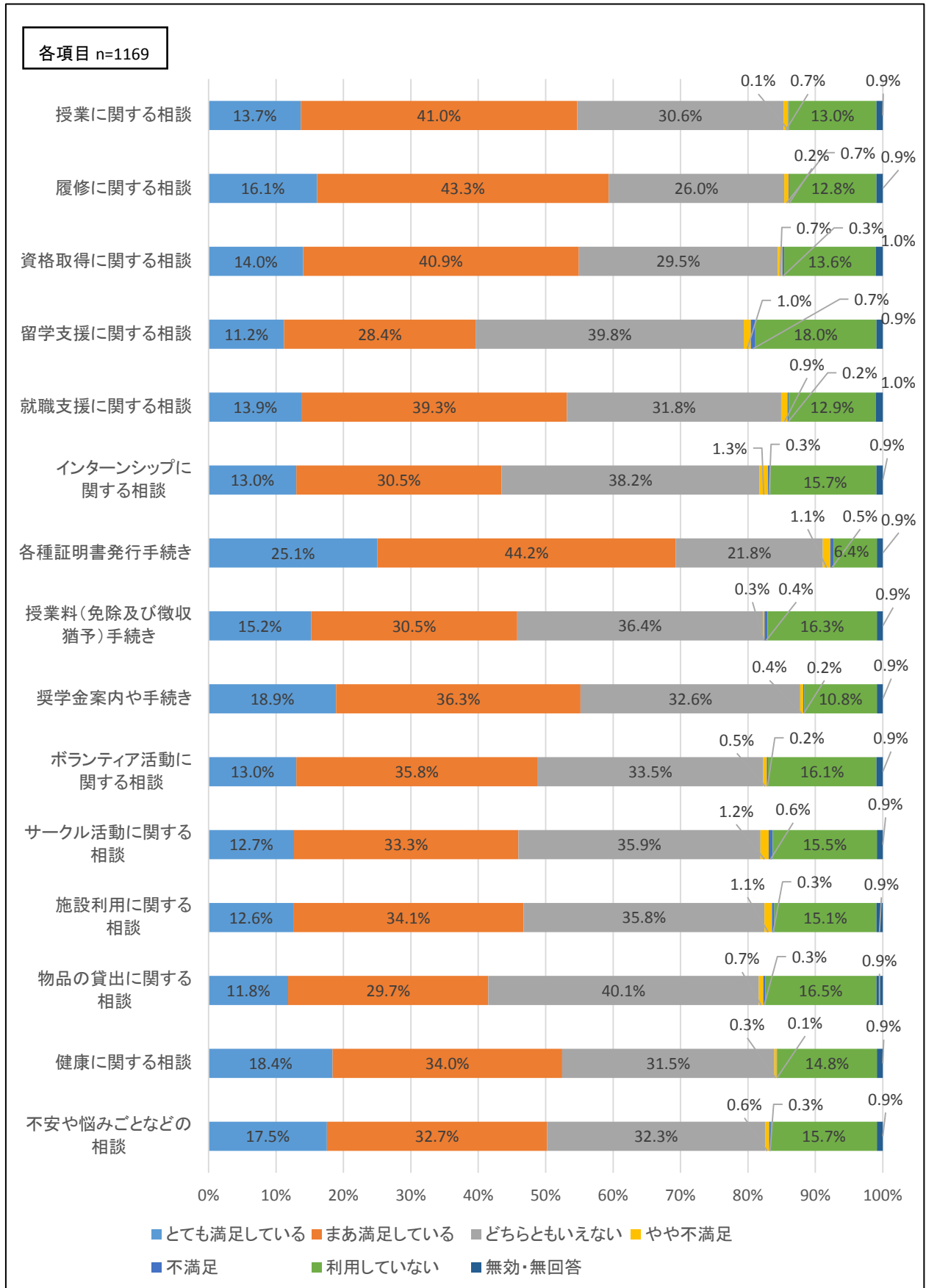
6割（58.1%）の学生が就職先に満足し、就職先について学ぶ機会が十分に提供されていると考える学生も5割を越える（51.7%）が、キャリア教育に関する授業が充実しているという回答は、それらに比べやや低く（45.7%）なっている。

X 施設・設備の満足度



学習環境には7割以上が満足しているが（71.8%）、くつろげる場所の満足度は低くなる（61.2%）。

XI 各種相談窓口に対する満足度

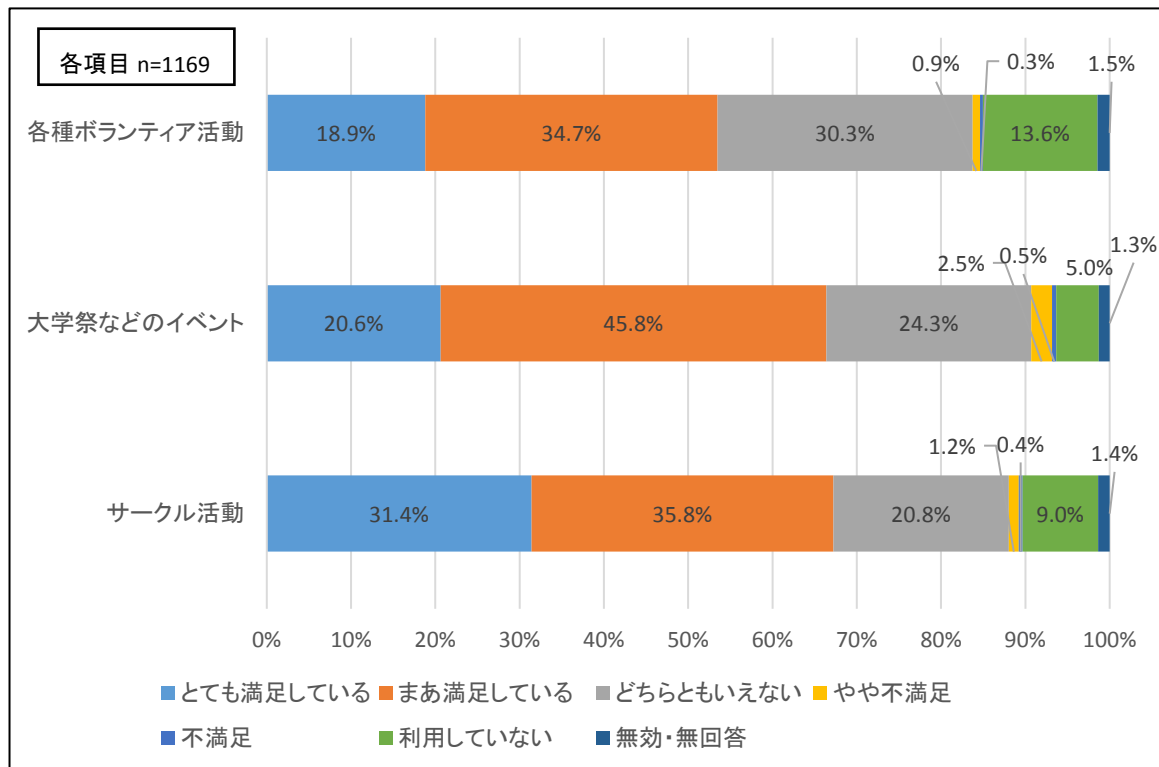


「各種証明書発行手続き」(69.3%)を除き、いずれの相談窓口についても満足度は60%未満と低い。これらの項目は、未利用者の割合も高くなっている(10~18%)。

XII 課外活動・サークル活動について

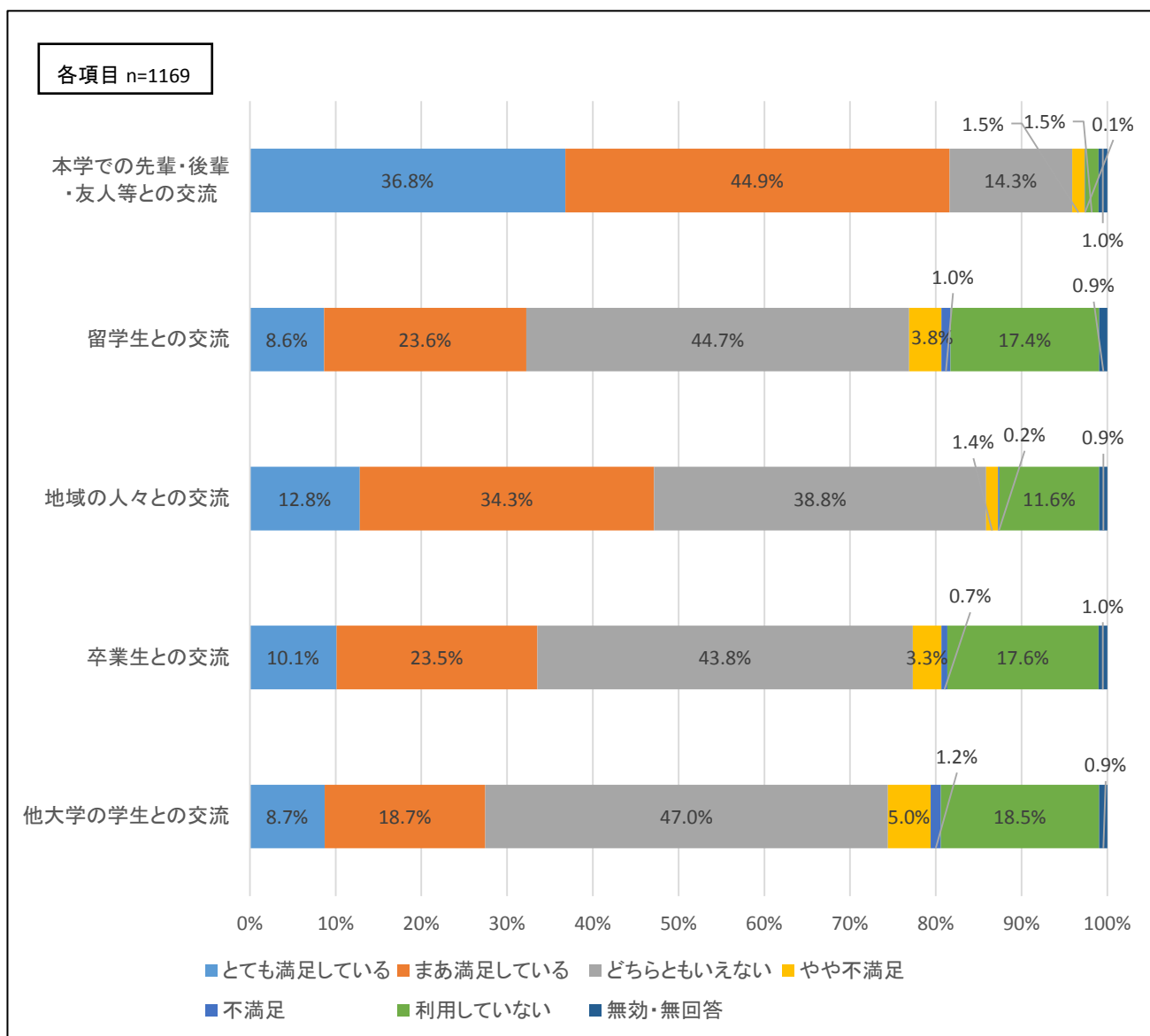
1. 1週間の課外活動・サークル活動時間 4.9時間

2. 課外活動・サークル活動の満足度



サークル活動(67.2%)・大学祭等(66.4%)の満足度に比べ、ボランティア活動の満足度が低い(53.6%)。ボランティア活動では未利用者(不参加者)が他の活動に比べ高いことも特徴的である。

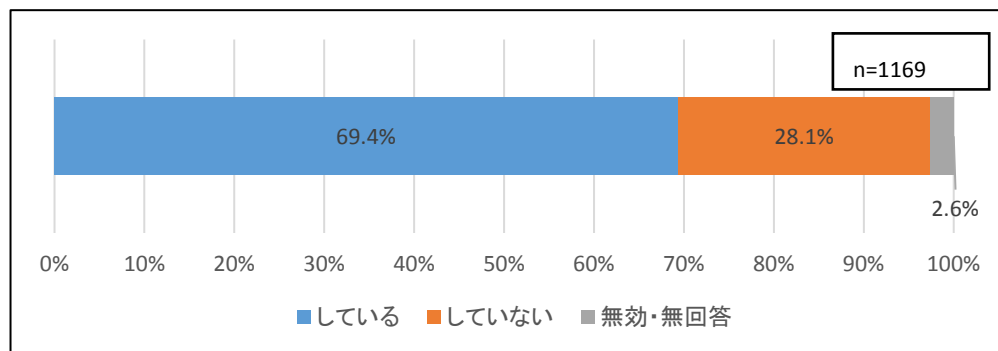
XIII 交友・交流関係に対する満足度



学内学生間の交流に高い満足度が示されたものの、留学生、卒業生、他大学生との交流においては、18%前後（17.4～18.5%）が未利用回答するなど、交流の範囲が学内に限定的である傾向が見える。

XIV アルバイト・生活習慣・その他生活実態について

1. 現在、アルバイトをしているか



1 週間の平均就労時間 1 2.4 時間

2. 収入と支出について (平均)

収入 (月額)

(円)

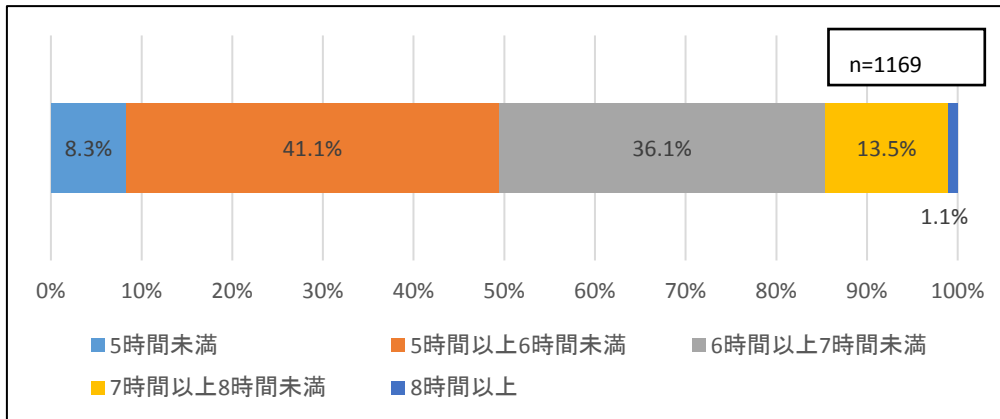
	仕送り	奨学金	アルバイト収入
自宅生	/	45,671	44,573
下宿生	46,675	54,969	38,191

支出 (月額) …… 昼食代のみ 1 日の額

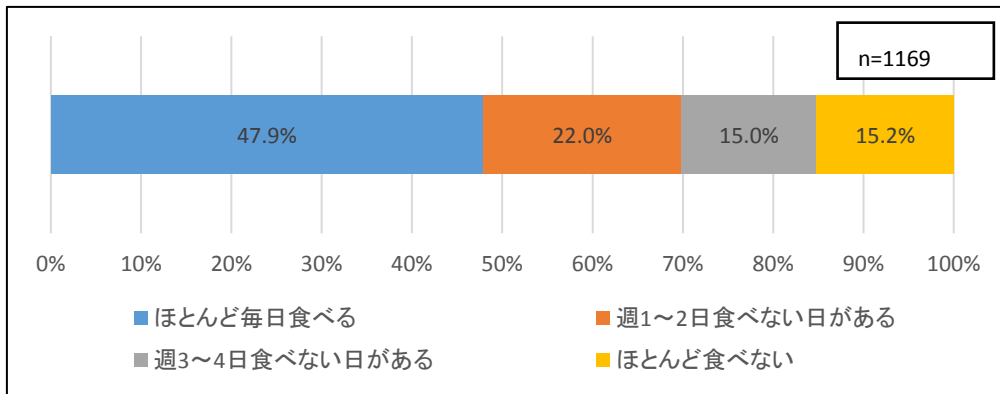
(円)

	住居費	書籍代	食費	昼食代
自宅生	/	4,874	10,096	455
下宿生	35,227	5,244	17,909	444
	サークル活動費	娯楽費	通信費	
自宅生	2,597	12,173	10,484	
下宿生	3,195	12,391	8,603	

3. 平日の睡眠時間

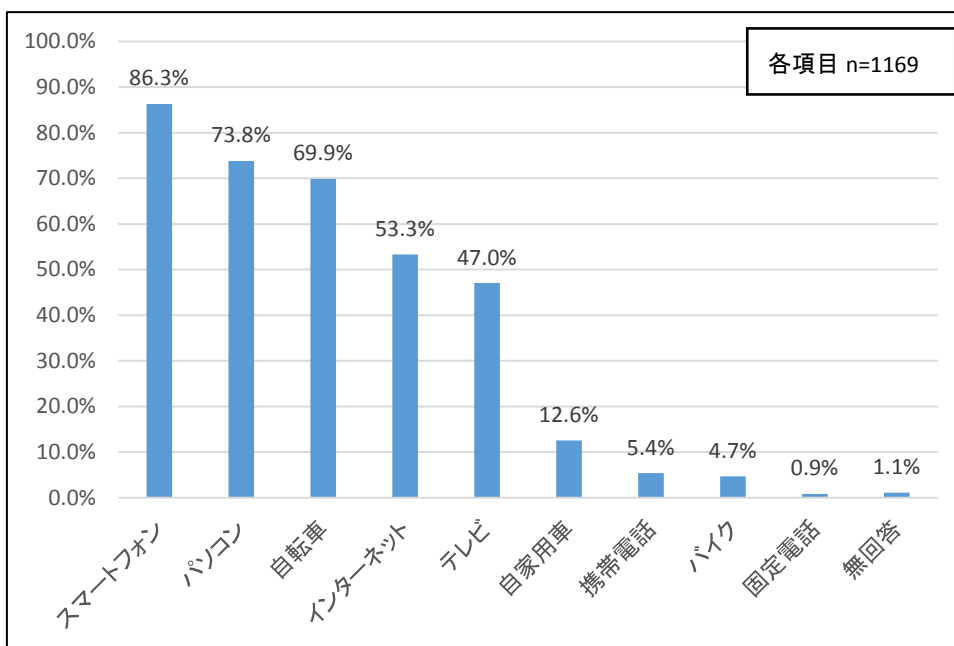


4. 朝食の摂取状況



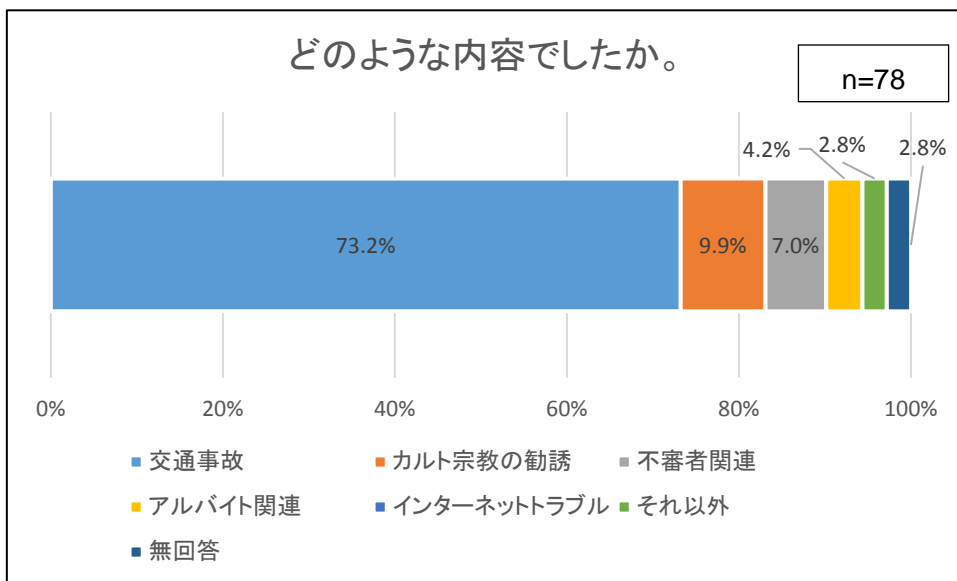
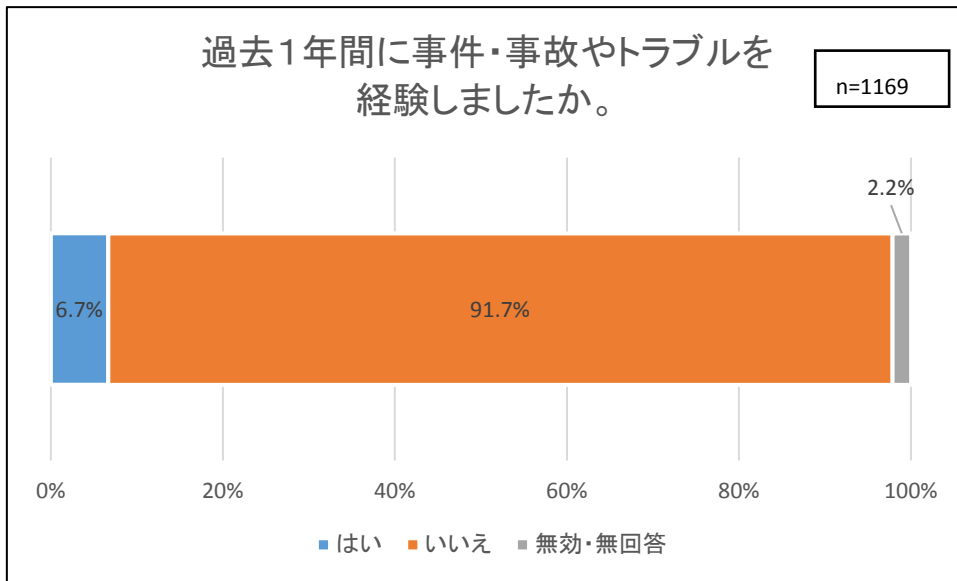
下宿生が 75%を越える中で、77.2%の学生が 5~7 時間の睡眠を取り、47.9%が毎日、69.9%が週 5 日以上朝食を摂取している。

5. 個人用として所有しているもの（個人で契約しているもの）



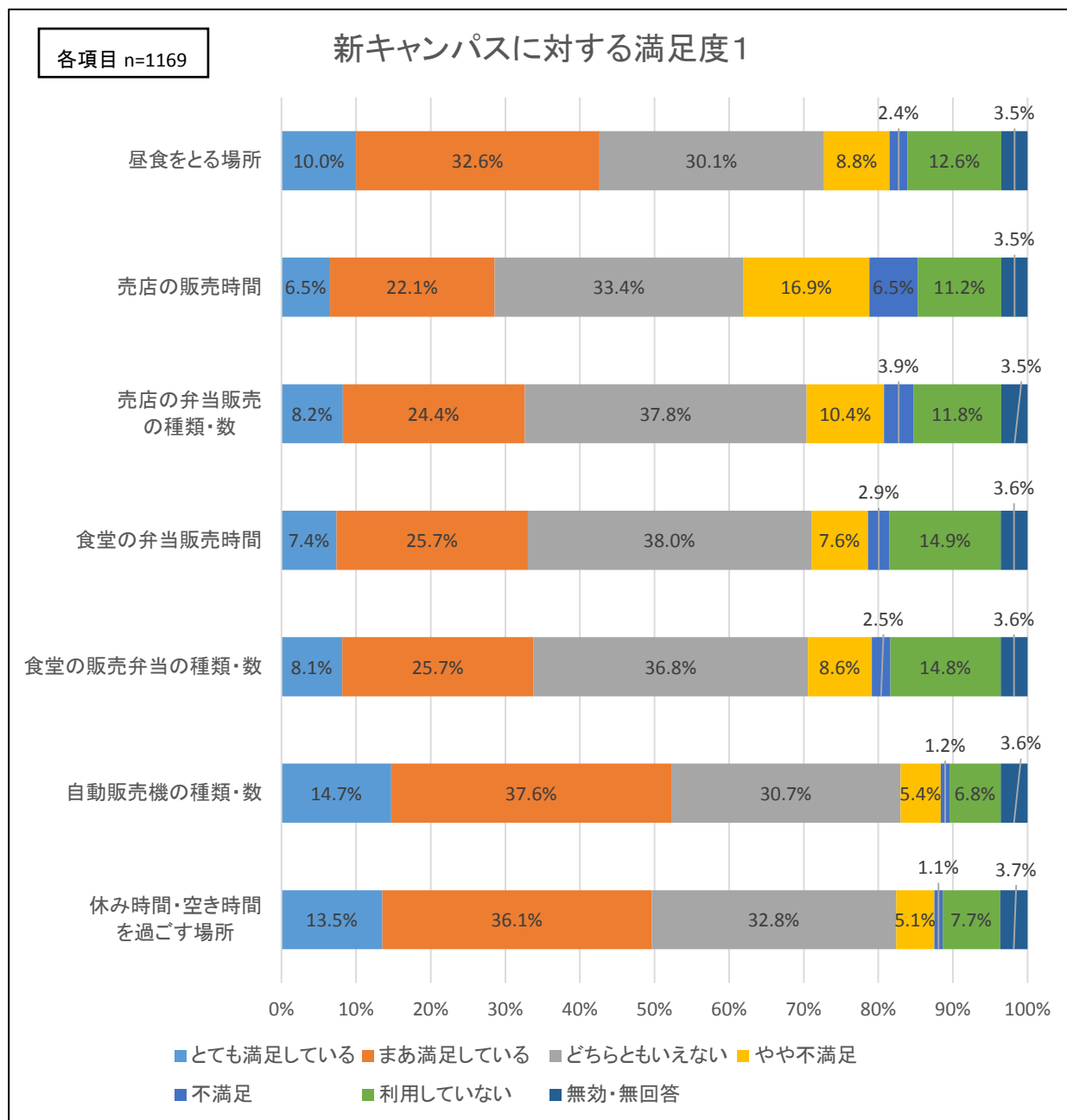
6. 過去1年間に事件・事故やトラブルを経験したか。

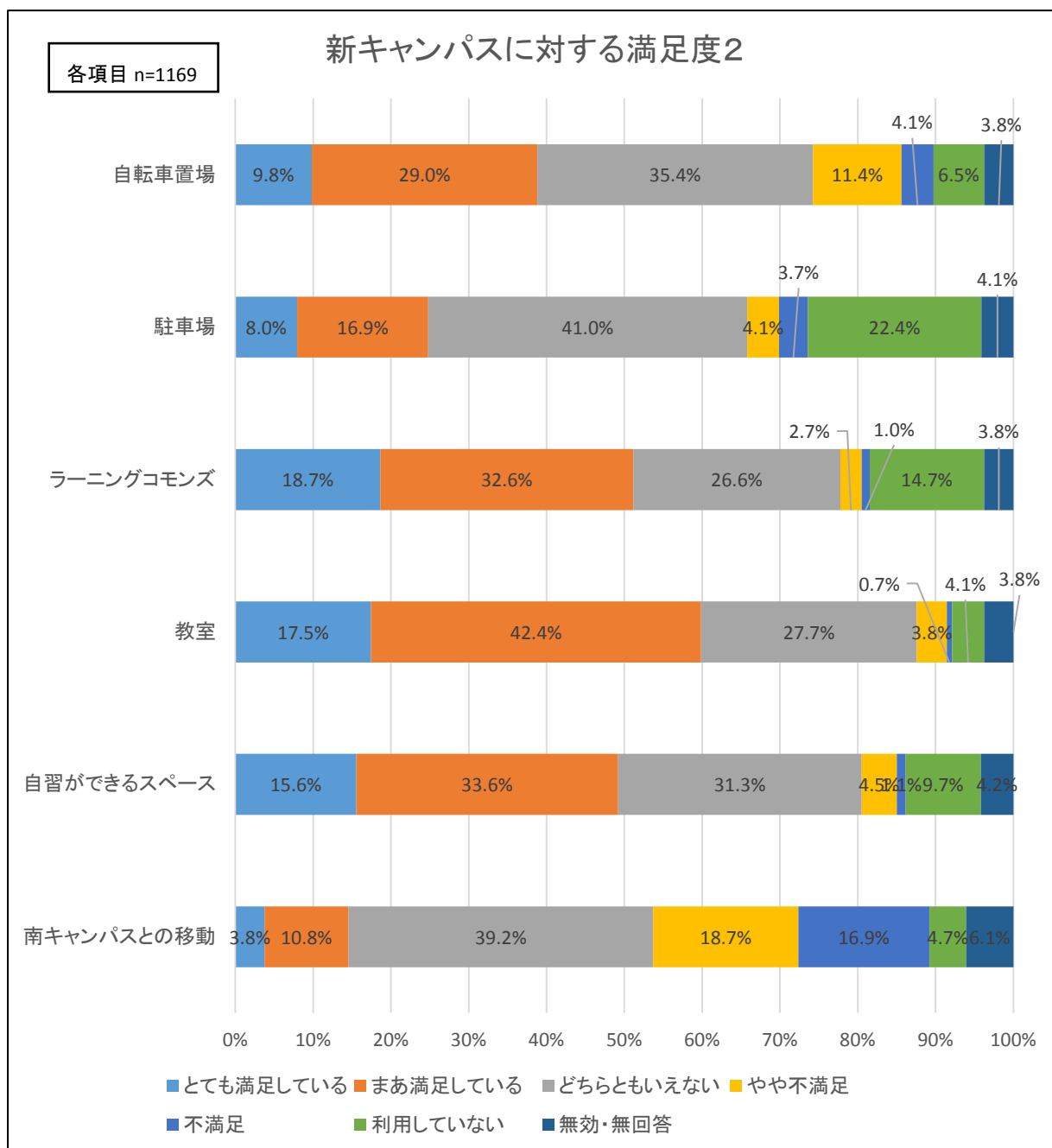
(はいと回答した者のみ) それはどのような内容だったか。



全学生の6.7%ではあるが、78人の学生が事件事故等を経験している。そのうち、73.2%が交通事故である。

XV 新キャンパスに対する満足度





全体的に満足度はあまり高くない。特に、南キャンパスとの移動には、35.6%が満足していない。また、売店・食堂（昼食時のみ営業）の販売時間、（商品の）種類・個数についても満足度が低い（満足 28.6～33.8%、不満足 10.5～23.4%）。

おわりに

本学では、学生支援の充実に活用するため、毎年10月に学生生活実態調査を、4月に学生満足度調査を実施してきました。平成29年度はこれらの調査を統一し、さらに、本学で学ぶ目的や学修成果、授業に関する感想等、新たな項目を加え「学生調査」として実施しました。回答していただく学生の皆さんの負担は増えてきましたが、より詳しいデータを得ることができたことに感謝申し上げます。

本学学生の全体的な特徴として、「幅広い知識・技術と将来の職業に役に立つ知識・技術を身につけることを目的に学んでいる」、「本学での学びによって相手の意見を丁寧に聞く力・意見の立場の違いを理解する力が身についたと考えている」、「学内学生との交友・交流に比べ、地域の人、留学生、他大学の学生といった学外者との交友・交流が少ない」、「学習環境の満足度に比べて、くつろぐ場所、昼食の購入や昼食を取る場所の満足度が低い」、「キャンパス移転に伴う不満足度が高い」といったことがわかりました。学内各部局において、本報告書を総合的な学生支援活動にご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、調査にあたりご協力いただきました全学生の皆さんに厚くお礼申し上げます。

山口県立大学 教務学生部 学生支援グループ